

令和7年度予算のお知らせ

健康保険料率、介護保険料率とも据え置きます。

健康保険料率 10.2%〔平成29年度(2017年度)から9年間据え置き〕
介護保険料率 1.9%〔令和元年度(2019年度)から7年間据え置き〕

令和7年(2025年)2月25日に開催された第114回組合会において、令和7年度予算案が可決承認されましたので概要をお知らせします。

健康保険 令和7年度の予算総額は、91億47百万円となり、経常収支差引額は、2億94百万円の赤字予算となりました。収入面のうち、保険料は平均標準報酬月額の上昇や被保険者数の増加を見込むものの、健康保険料率を据え置いたことにより84億94百万円(前年度差+2億39百万円)、国庫負担金などを含めた経常収入は、85億02百万円と見込んでおります。

また支出面では令和3年度以降医療費の増加傾向は続いており、今後も高止まりが想定されることから、保険給付費については被保険者一人当たりの伸び率を4%と想定し、54億37百万円(前年度差+3億91百万円)と見込みました。

高齢者医療については、65歳以上75歳未満の前期高齢者数は1,200人を超え5年前の2倍以上の人数になったものの一人当たりの保険給付費は漸減しており、前期高齢者納付金は11億73百万円(前年度差△54百万円)となる一方、健康保険組合が拠出する後期高齢者医療への支援金が増加して、高齢者医療制度全体への納付金・支援金は、31億27百万円(前年度差+1億02百万円)となっています。

健康づくりをサポートする保健事業費は1億26百万円(前年度差+42百万円)を予算化し、特定保健指導、がん検診補助や人間ドック補助金等に充当いたします。

この結果、経常支出は87億96百万円で経常収支差額2億94百万円の赤字となるため、準備金から5億円を繰り入れて不足分に充当し、残額は予備費として見込以上の支出が出た場合に備えます。

なお、前年度決算残金見込額6億87百万円は、法定準備率を維持するため、準備金として積み立てる予定です。※本文中における「前年度差」は、すべて前年度見込額との差になります。

介護保険 介護保険は高齢者の介護を社会全体で支えあう仕組みです。当健康保険組合は在籍する40歳から64歳までの被保険者の年間総報酬額に、厚生労働省が算出した負担率を乗じた額を納付金として負担します。当健康保険組合の納付金額は、前述の年間総報酬額に厚生労働省が算出した令和7年度負担率約1.90%を乗じた金額から前々年度の精算戻り額を差し引いた8億43百万円となります。介護保険料率を現行の1.9%のまま据え置いた場合、介護保険料収入は9億75百万円で1億32百万円の黒字となる見込みです。

結 び 保険給付費の増加や高齢者医療制度への負担増などが健康保険組合の運営に大きな影響を与えており、当健康保険組合も財政面での厳しさが継続しております。かかる状況下で、今後も保健事業の拡大など疾病予防・重症化予防を推進し、皆さまからお預かりした保険料を有効に活用すべく取り組んでまいります。皆さまにおかれましても自らの心身の健康管理、健康寿命の延伸、重症化予防などに積極的に取り組んでいただくとともに医療の適正受診、ジェネリック医薬品の活用などにご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年度健康保険料率と介護保険料率の内容

当健康保険組合の令和7年度健康保険料率と介護保険料率が以下のとおり決定いたしましたので公告いたします。

1. 各保険料率

		事業主負担分	被保険者負担分	合計
一般保険料率	基本保険料率	31.873/1000	31.873/1000	63.746/1000
	特定保険料率	18.567/1000	18.567/1000	37.134/1000
	計	50.440/1000	50.440/1000	100.880/1000
調整保険料率		0.560/1000	0.560/1000	1.120/1000
健康保険料率合計		51.000/1000	51.000/1000	102.000/1000
介護保険料率		9.500/1000	9.500/1000	19.000/1000

2. 実施年月日

令和7年3月1日から(ただし、健康保険法第3条第4項に規定する「任意継続被保険者」については令和7年4月1日から)

任意継続被保険者の標準報酬月額について

当健康保険組合の令和7年度における任意継続被保険者の標準報酬(健康保険法第47条の規定による)を下記のとおり定めたので公告いたします。

記

- 標準報酬月額：240,000円
- 標準報酬日額：8,000円
- 適用期間：令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

令和7年度 予算のPoint

●健康保険料率、介護保険料率とも据置き

- * 令和7年度の健康保険料率、介護保険料率とも、10.2%、1.9%に据え置きます。
- * 収支不足は準備金を取り崩して補てんします。
- * 医療費の伸びや高齢者医療の納付金等の動向により、今後は保険料率の見直しが必要となります。

令和7年度 健康保険 予算のあらまし

被保険者1人当たりの収入支出予算額 **358,700円**

健康保険《予算概要》

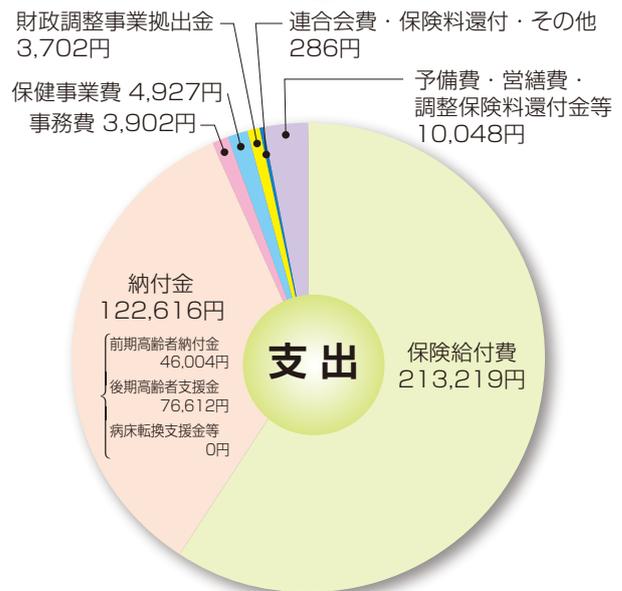
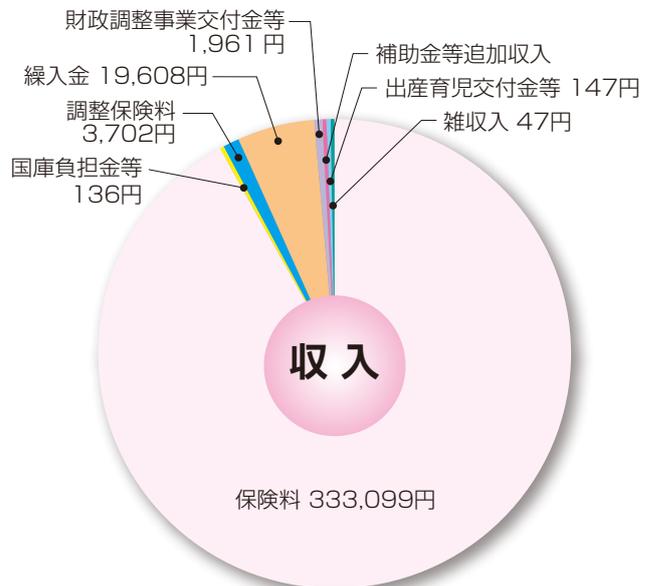
【収入】

	(単位：千円)	被保険者1人当たり 収入額(円)
保険料	8,494,019	333,099
国庫負担金等	3,464	136
調整保険料	94,403	3,702
繰入金	500,000	19,608
財政調整事業交付金等	50,001	1,961
補助金等追加収入	7	—
出産育児交付金等	3,757	147
雑収入	1,210	47
合計	9,146,861	358,700
経常収入合計	8,502,450	333,429

【支出】

	(単位：千円)	被保険者1人当たり 支出額(円)
事務費	99,513	3,902
保険給付費	5,437,085	213,219
法定給付費	5,435,165	213,144
付加給付費	1,920	75
納付金	3,126,705	122,616
前期高齢者納付金	1,173,095	46,004
後期高齢者支援金	1,953,608	76,612
病床転換支援金等	2	0
保健事業費	125,628	4,927
財政調整事業拠出金	94,403	3,702
連合会費・保険料還付・その他	7,301	286
予備費・営繕費・調整保険料還付金等	256,226	10,048
合計	9,146,861	358,700
経常支出合計	8,796,232	344,950
経常収支差引額	△ 293,782	△ 11,521

※ 網掛け部分が経常収支です。



介護保険《予算概要》

【収入】

	(単位：千円)	被保険者1人当たり 収入額(円)
保険料	975,380	64,170
繰入金・繰越金	0	0
雑収入	4	0
合計	975,384	64,170

【支出】

	(単位：千円)	被保険者1人当たり 支出額(円)
介護納付金	843,210	55,474
還付金	300	20
雑支出	50	3
予備費	131,824	8,673
合計	975,384	64,170

予算編成の基礎となった数字

- 被保険者数…………… 25,500人
(男性 9,435人、女性 16,065人)
- 平均標準報酬月額…………… 241,500円
(男性 313,028円、女性 199,912円)
- 総標準賞与額(年間合計) …… 10,734,873千円
- 平均年齢…………… 45.34歳
(男性 41.89歳、女性 47.37歳)
- 被扶養者数…………… 6,856人
- 健康保険料率…………… 1,000分の102
(事業主 1,000分の51、被保険者 1,000分の51)
- 介護保険第2号被保険者たる被保険者数
…………… 15,200人
- 介護保険料率…………… 1,000分の19
(事業主 1,000分の9.5、被保険者 1,000分の9.5)